

# 平成 23 年度 伊勢市環境報告書



## もくじ

伊勢市環境基本計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

環境報告書の読み方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

平成 23 年度 施策の展開状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

基本目標 1 地球環境に配慮した、資源やエネルギーが大切にされる、  
循環型社会のまち について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5  
    関連計画の指標値及び目標値 推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

基本目標 2 豊かな自然が守られた、水と緑と人が共生する  
魅力あるまち について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11  
    関連計画の指標値及び目標値 推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

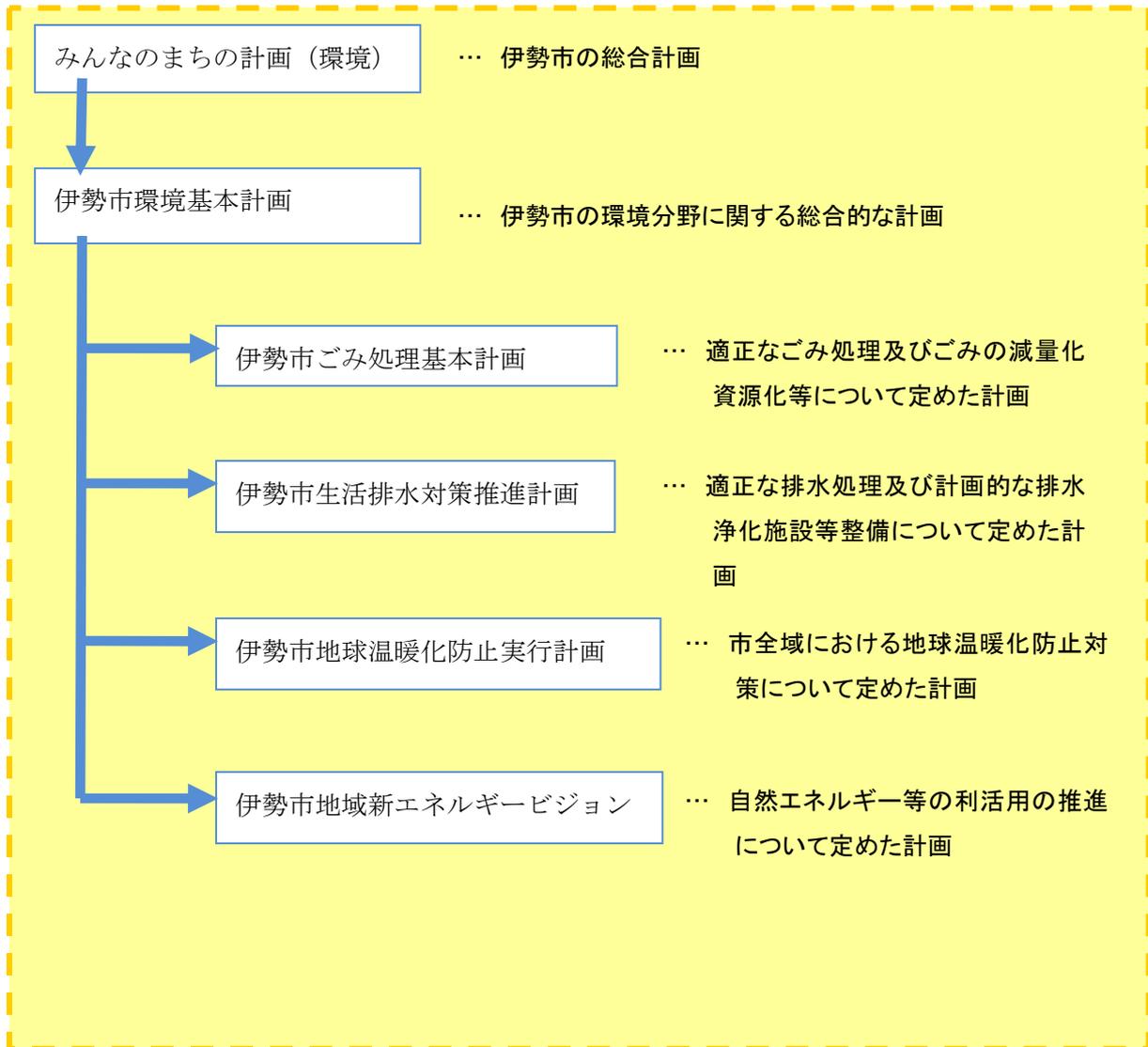
基本目標 3 歴史・文化の薫る、快適に暮らせるまち について・・・・ 18  
    関連計画の指標値及び目標値 推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

基本目標 4 協働でつくる、人と環境にやさしいまち について・・・・ 23  
    関連計画の指標値及び目標値 推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26



## 伊勢市環境基本計画の位置づけ

伊勢市環境基本計画の環境分野における位置づけは以下のとおりです。



# 環境報告書の読み方

伊勢市環境基本計画の施策体系に沿って紹介しています。

平成 23 年度に実施した当該目標達成にかかわる事業のうち、主なものについて概要や実績を紹介しています。

“環境基本計画”にて掲げた分野別の目標像

基本目標 1. 地球環境に配慮した、資源やエネルギーが大切にされる、循環型社会のまち。

(1) 計画的な推進体制の確立

1 地球温暖化防止推進計画の策定

地球温暖化防止に向けた取組を、総合的・計画的に推進するための方針を策定します。

実施内容

- 《重点事業1 伊勢市地球温暖化防止推進計画の策定》

市域から排出される温室効果ガスの推計値(1990年、2006年、2007年)や、三重県地球温暖化防止計画(区域施策編)の策定状況等、伊勢市地球温暖化防止実行計画(区域施策編)の策定のための参考資料・情報の収集に取り組みました。

(2) 資源・エネルギーの有効利用

1 新エネルギーの導入の推進

環境負荷の少ない新エネルギー機器等の普及を進めます。

実施内容

- 《重点事業2 家庭用太陽光発電機器設置の推進》

市内の家庭における太陽光発電機器の設置促進のため、太陽光発電機器設置世帯 80 件に対し、1 件あたり 6 万円の設置補助金を交付しました。

目標値：一般家庭における太陽光発電機器設置件数 (単位：件)

平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度 (目標年度)
504	584	664	1,000

“環境基本計画”にて掲げた目標像の実現のための施策の方向性と内容

実施した事業内容及び実績を紹介しています。

“環境基本計画”において重点事業に位置づけているものは、事業名を《 》表記しています。

重点事業のうち、目標値を定めたものについて、各年度の実績値を表記しています。

環境課以外で実施された内容は、文末に  で所管課を明記しています。

環境課主管事業は明記していません。

また、基本目標の達成状況の参考として、上位・下位計画にて掲げた指標や目標値について、伊勢市環境基本計画の各目標別に、経年状況を併せて記載しています。

関連計画の指標値及び目標値 推移

◇省エネを実践している人の割合（総合計画） [単位：%]

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度 (目標年度)
84.6	85.8	87.4	82.9	91.5	90.0

◇新エネルギーなどを利用している人の割合（総合計画） [単位：%]

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度 (目標年度)
17.1	16.5	15.6	16.1	19.6	30.0

◇市内の可燃ごみ量（総合計画・ごみ処理基本計画） [単位：t]

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度 (目標年度)
46,643	44,655	44,594	44,015	42,426	39,600

◇資源化率（総合計画・ごみ処理基本計画） [単位：%]

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度 (目標年度)
18.5	19.5	18.6	18.7	18.7	27.0

◇最終処分量（総合計画・ごみ処理基本計画） [単位：t]

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度 (目標年度)

( )内には、当該数値を指標・目標値として掲げている計画を記載しています。



## 平成23年度 施策の展開状況

伊勢の環境の保全のために展開した主な施策・事業及びその実績について、紹介します。

### 基本目標 1. 地球環境に配慮した、資源やエネルギーが大切にされる、 循環型社会のまち

#### (1) 計画的な推進体制の確立

##### ①地球温暖化防止推進計画の策定

地球温暖化防止に向けた取組を、総合的・計画的に推進するための方針を策定します。

#### 実施内容

##### ● 《重点事業 1 伊勢市地球温暖化防止推進計画の策定》

平成 23 年 5 月 9 日、伊勢市環境審議会に「伊勢市の“エネルギーの地産地消”についての具体的取組等を含めた『伊勢市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）』」について諮問し、“エネルギーの地産地消”について、平成 23 年 10 月 19 日付けで答申を受けました。（※平成 24 年 12 月策定）

#### (2) 資源・エネルギーの有効利用

##### ① 新エネルギーの導入の推進

環境負荷の少ない新エネルギー機器等の普及を進めます。

#### 実施内容

##### ● 《重点事業 2 家庭用太陽光発電機器設置の推進》

市内の家庭における太陽光発電機器の設置促進のため、太陽光発電機器設置世帯 397 件に対し、1 件あたり 6 万円の設置補助金を交付しました。

目標値：一般家庭における太陽光発電機器設置件数 （単位：件）

平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 26 年度 （目標年度）
504	584	664	1,061	1,000

- しごうこども園に太陽光発電機器を設置しました。こども課

## ② 資源、エネルギーの循環利用の推進

資源循環型社会構築のため、資源・エネルギーを循環させる仕組みづくりを行います。

### 実施内容

#### ● 《重点事業3 天ぷら油のバイオディーゼル燃料としての再利用》

廃食用油を分別回収し、バイオディーゼル燃料や市内公衆浴場の代替燃料として再利用を図りました。清掃課

目標値：天ぷら油の分別回収量

(単位：ℓ)

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成26年度 (目標年度)
11,840	21,978	26,926	31,643	82,000

#### ● 《重点事業4 生ごみ等のバイオガス利用の検討》

現状においては、資源化施設の建設の他、現焼却施設においても多額の改修費を要することから事業化の好期とは言えず、実施は困難であると判断し、検討結果については、現焼却施設の更新の際の検討資料として活用することとした。

## ③ 省資源、省エネルギー対策の推進

省資源、省エネルギーな生活・事業活動への転換を行ないます。

### 実施内容

- 市の施設である公園の照明灯と駐輪場の照明灯にLED球照明灯を使用し、省エネルギー化を図りました。基盤整備課

### (3) 3Rの推進

#### ① 廃棄物の発生抑制

廃棄物が発生しない生活・事業活動への転換を行ないます。

##### 実施内容

- 出前講座として、ごみの資源化に関する講座を開催した。(説明会開催回数 10回、参加人員 延べ 277人) 清掃課

#### ② 廃棄物の再使用・再生利用の推進

再使用・再生利用のしくみづくりを行ない、焼却・埋立ごみの減量を図ります。

##### 実施内容

- 生ごみの減量化の推進のため、ごみ減量化容器の購入費の一部を助成しました【交付対象基数 121基 補助率:購入費の1/2、上限3万円】。清掃課
- ごみの減量・資源化等の推進のため、自治会・子ども会などの 156 団体が実施する廃品回収にて回収された資源の量に応じ、再生資源回収事業奨励金を交付しました【1kg 当たり6円、リターナブルびんは1本当たり3円】。清掃課

#### ③ 廃棄物の適正処理

自然環境・生活環境に影響がかからないような適正な処理を行ないます。

##### 実施内容

- 市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして 169 自治会より推薦された 341 名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼しました。清掃課

#### ④ 推進基盤の整備

3Rを地域全体として進める基盤として、ごみ収集方法等の統一を進めます。

##### 実施内容

##### ● 《重点事業5 ごみの収集方法の統一》

市内全域における燃えるごみの集積化を実現、維持するため、自治会等の協力を得てごみ集積所の設置・修繕を行った。清掃課

目標値：燃えるごみの集積化率

(単位：%)

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成26年度 (目標年度)
58.2	58.7	95.9	99.7	100

関連計画の指標値及び目標値 推移

◇省エネを実践している人の割合（総合計画）

【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
84.6	85.8	87.4	82.9	91.5	90.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇新エネルギーなどを利用している人の割合（総合計画）

【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
17.1	16.5	15.6	16.1	19.6	30.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇市内の可燃ごみ量（総合計画・ごみ処理基本計画）

【単位：t】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
44,655	44,594	44,015	42,426	42,814	39,600

※当該年度において伊勢広域環境組合清掃工場で伊勢市から受け入れた可燃ごみ重量

◇資源化率（総合計画・ごみ処理基本計画）

【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
19.5	18.6	18.7	18.7	18.4	27.0

※当該年度における資源化率（資源回収量÷ごみ総排出量×100）

◇最終処分量（総合計画・ごみ処理基本計画）

【単位：t】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
585.8	410.2	438.9	211.8	186.0	129

※当該年度における最終処分量（市廃棄物投棄場への埋立量+伊勢広域環境組合の埋立量（伊勢市分））

## ◇太陽光発電機器の導入件数（新エネルギービジョン）

【単位：件】

H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度 (目標年度)
—	446	504	584	664	1,061	1,000

※平成 19 年度推計値に当該年度末までの補助金交付件数を加算

## ◇クリーンエネルギー自動車の導入台数（新エネルギービジョン）

【単位：台】

H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度 (目標年度)
—	377	—	—	—	—	1,200

## 基本目標 2、豊かな自然が守られた、

### 水と緑と人が共生する魅力あるまち

#### (1) 自然環境の保全

##### ① 生物多様性の確保

動植物の生息環境を保全し、生物多様性の確保に努めます。

##### 実施内容

- 水生生物の産卵場、幼稚魚の保育場など水産資源の保護・培養の他、水質浄化などの役割を持つ干潟において、地区漁業者が中心となっている活動組織が行う耕うん・稚貝の沈着促進等の保全に係る活動を支援し、干潟の機能回復等に努めました。農林水産課
  
- 大堀川支川、大倉川(4箇所)、亀谷郡川(2箇所)、小田古川、雲出川、五十鈴川において、護岸ブロックに環境保全型を使用し、植生の早期復元を図りました。基盤整備課

##### ② 公害等への対応

公害関係法令等に定める環境基準を遵守し、自然環境を保全します。

##### 実施内容

- 公害関係法令に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また特定建設作業に対する各種届出を受理し、適宜指導を行ないました。

区分	設置届出数	廃止届出数
大気汚染防止法	件 2	件 4
水質汚濁防止法	5	5
計	7	9

### ③生活排水対策の推進

水質汚濁の防止・改善及び良好な生活環境の確保のため、生活排水対策を推進します。

#### 実施内容

- 国土交通省の委託を受け、宮川の流水を勢田川へ導水することにより、勢田川、豊川、及び市内幹線排水路の浄化を図りました。維持課

- 《重点事業6 生活排水対策ハード整備の推進》

第3期事業認可区域を拡大し整備すると共に、第2期事業認可区域の完成を目指し、下水道供用区域の拡大を図りました。上下水道総務課

目標値

(単位：%)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H26年度 (目標年度)
下水道普及率	29.7	32.8	38.1	41.2	47.6
市内全域の水洗化率	42.4	48.1	50.8	54.1	61.1

- 合併浄化槽を設置した世帯に対し、補助金を交付しました。

交付実績

(単位：件)

下水道認可区域外	区域内	計
395	38	433

- 市内河川、幹線排水路、海域の水質汚濁状況をについて、次のとおり調査しました。

区分	河川水質 (12河川)	海域水質	幹線排水路 水質
地点	32	7	4
項目	19	6	10
回数	4~12	4	4

河川BOD経年変化

年 度	18	19	20	21	22	23	環境基準
	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
宇治橋（五十鈴川）	0.6	0.9	0.7	0.5	0.5	1.6	1 mg/l以下
堀割橋（五十鈴川）	0.8	1.1	0.8	0.8	0.6	1.7	2 mg/l以下
勢田大橋（勢田川）	6.7	4.1	4.1	2.9	3.1	3.6	5 mg/l以下
度会橋（宮川）	0.7	0.6	0.6	0.5	0.7	0.5	1 mg/l以下
大野橋（外城田川）	1.5	2.1	1.6	1.4	2.0	2.2	3 mg/l以下
豊浜橋（外城田川）	1.6	1.5	1.6	1.4	1.4	2.7	5 mg/l以下
有滝橋（江川）	0.9	0.9	0.8	0.6	0.6	1.9	—
大堀川橋（大堀川）	1.5	1.5	1.6	1.3	1.2	2.1	—
野垣外橋（汁谷川）	0.8	1.6	1.1	1.1	1.4	1.7	—
鮫川（上流）	—	—	—	—	21.2	13.0	—
鮫川（下流）	—	—	—	—	21.4	4.8	—

海域COD経年変化

年 度	18	19	20	21	22	23	環境基準
	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	
東大淀沖	0.7	1.2	1.1	1.2	1.9	0.7	2 mg/l以下
村松沖	0.8	0.8	1.2	1.3	1.6	0.7	3 mg/l以下
豊北漁港	0.9	1.0	1.1	1.4	1.7	0.5未満	3 mg/l以下
大湊沖	0.2	0.7	1.1	1.6	1.3	0.5未満	3 mg/l以下
宇治山田港	0.8	0.8	0.7	1.1	1.6	0.5未満	3 mg/l以下
宇治山田港沖	0.5	0.6	1.0	1.0	1.8	0.5未満	3 mg/l以下
笹笛川地先	—	0.9	1.4	1.5	1.6	0.5未満	3 mg/l以下

#### ④自然とのふれあいの増進

自然を満喫し、また、自然環境保全の意識を醸成するため、自然とふれあう機会や環境の整備を行ないます。

##### 実施内容

- 勢田川親水機会の創出を目的に、勢田川沿いにキャンドルを灯す“100万人のキャンドルナイト伊勢～勢田川を天の川に～”の開催に協力しました。(主催者：100万人のキャンドルナイト伊勢実行部隊)

## (2) 公益的機能の保全

### ①森林の公益的機能の保全

森林の有する公益的機能(水源の涵養、自然災害の防止等)を発揮することができるよう、適正な森林管理を推進します。

##### 実施内容

- 市内の環境保全林において間伐を行うこととしている。(これまで年次的に間伐を実施してきたが、H23年度は間伐を必要とする箇所がなかったため未実施)農林水産課

### ②農地の公益的機能の保全

農地の有する公益的機能(自然災害の防止、景観形成等)を発揮することができるよう、農地の保全を図ります。

##### 実施内容

#### ●《重点事業7 遊休農地の利活用》

地域の農業者団体等が景観作物を作付けする場合に、必要な草刈や耕起、種子代などへの支援、また、地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、遊休農地を営農可能な状態にするための支援を行う。【実績0件】

農林水産課

目標値：農用地面積における遊休農地の割合 (単位：%)

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H26年度 (目標年度)
3.1	3.1	3.8	3.1	1.5

関連計画の指標値及び目標値 推移

◇空気がきれいだと感じる人の割合（総合計画） 【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
60.7	61.7	62.1	64.5	66.9	70.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇自然風景に対する満足度（総合計画） 【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
48.8	56.0	48.1	45.1	53.2	52.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇山の自然が守られていると感じる人の割合（総合計画） 【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
31.1	37.0	30.9	36.7	43.0	50.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇山に親しみをを感じる人の割合（総合計画） 【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
40.2	42.3	40.0	42.5	41.4	50.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇川の自然が守られていると感じる人の割合（総合計画） 【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
30.5	34.7	33.6	35.2	41.9	50.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇川に親しみを感じる人の割合（総合計画）

【単位：％】

H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度 (目標年度)
37.3	44.1	40.3	41.2	44.4	50.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇海の自然が守られていると感じる人の割合（総合計画）

【単位：％】

H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度 (目標年度)
18.5	20.5	20.7	24.3	24.2	30.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇海に親しみを感じる人の割合（総合計画）

【単位：％】

H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度 (目標年度)
33.6	35.7	32.0	39.2	30.8	50.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇勢田川の BOD 値（総合計画）

【単位：mg/ℓ】

H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度 (目標年度)
4.4	7.2	5.0	2.6	3.7	3.7	3.0 以下

◇伊勢湾伊勢地先の COD 値（総合計画）

【単位：mg/ℓ】

H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度 (目標年度)
2.4	2.6	2.7	3.0	2.9	3.0	2.0 以下

## ◇下水道（汚水）の普及率（総合計画）

【単位：％】

H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度 (目標年度)
26.1	27.4	29.7	32.8	38.1	41.2	41.0

※当該年度末時点の下水道普及率

## ◇合併浄化槽の普及率（総合計画）

【単位：％】

H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度 (目標年度)
24.5	26.8	19.7	26.9	31.5	33.4	30.0

※当該年度末時点の下水道区域外における合併浄化槽の普及率

## ◇農用地の面積（総合計画）

【単位：ha】

H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度 (目標年度)
2,273	2,272	2,265	2,261	2,255	2,255

※当該年度末時点の農用地面積

## ◇遊休農地の割合（総合計画）

【単位：％】

H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度 (目標年度)
3.1	2.6	3.1	3.1	3.8	3.1	1.5

※当該年度末時点の遊休農地の割合

## 基本目標 3. 歴史・文化の薫る、快適に暮らせるまち

### (1) 生活環境の保全

#### ① まちの美化

生活者も来訪者も快適に過ごせる地域の環境美化、衛生環境の向上に努めます。

#### 実施内容

- 街の美化や環境衛生の保全のため、不法投棄防止啓発の看板または監視カメラを設置するなどの防止対策を講じました。また、市民からの通報を受けて、不法投棄された廃棄物をすみやかに処理しました。清掃課

#### ② 住環境の向上

騒音、振動、悪臭が適正に管理された快適な住環境の実現を目指します。

#### 実施内容

- 公害関係法令に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また特定建設作業に対する各種届出を受理し、適宜指導を行ないました。

区分		設置届出数	廃止届出数
騒音規制法		件 7	件 0
振動規制法		1	0
三重県生活環境 の保全に関する 条例関係	ばい煙	3	1
	粉じん	1	0
	騒音	6	1
	振動	1	0
	揚水設備	1	0
ダイオキシン類対策特別措置法		0	0
計		20	2

- 環境騒音、道路交通による騒音及び振動を測定しました。一般環境騒音は5地点、道路交通騒音は3地点、道路振動は1地点で測定し、一般交通騒音及び道路振動についてはすべての地点において基準に適合しました。
- 市内2箇所、各4地点において臭気測定を実施しました。いずれも参考基準値内に留まりました。

### ③水資源の確保

良質な水を効率的に安定して供給できる体制を保持します。

#### 実施内容

- 配水管、給水管の漏水調査事業を委託したところ、44箇所の漏水を発見し、修繕を行ないました。上水道課

## (2) 都市環境の保全

### ①景観に配慮したまちづくり

伊勢の歴史や文化が感じることができる景観形成を推進します。

#### 実施内容

- 伊勢市景観条例に規定する重点地区(内宮おはらい町地区、二見町茶屋地区)において、建築物の修景にかかる費用の一部を補助する「伊勢市景観形成推進事業補助金」を行いました。【申請件数0件】。都市計画課

### ②公園、緑地の充実

潤いや安らぎを感じられるための都市環境として、公園・緑地の充実を図ります。

#### 実施内容

- 公園用地に花壇等を設置し、四季折々の植栽を行なうことで市民に対する関心を高め、市民参加の「花のまちづくり」の推進を図りました。維持課

### ③バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進

バリアフリー、ユニバーサルデザインを推進し、誰もが快適に生活できるまちの実現を目指します。

#### 実施内容

- 市の公園施設において、段差解消・ベンチの設置、水飲み場、便所などのユニバーサルデザイン及びバリアフリー化の整備を図りました。基盤整備課
- 平成21年度～23年度にかけて整備したしごうこども園において、ユニバーサルデザインの認証を受けました。こども課

### ④伊勢の環境文化の保全と発信

伊勢のまちで醸成された環境文化を保全、発信します。

#### 実施内容

- 皇學館大学生と伊勢の環境について“環境ミーティング”を行ないました。
- 《重点事業8 伊勢の環境についての情報発信、PRの推進》  
市の環境施策に関する情報について、適宜広報や市HP、iTVなどにて情報提供を行ないました。

目標値：市HPにおける環境関連のコンテンツ数 (単位：件)

H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H26年度 (目標年度)
83	96	111	—	250

※市HPシステムの切替により、数値化不能

関連計画の指標値及び目標値 推移

◇騒音が気になる人の割合（総合計画）

【単位：％】

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
昼	29.9	27.8	30.4	26.9	28.4	20.0
夜	25.3	25.5	26.1	23.3	30.6	15.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇ごみの回収が街の美観に配慮されている

と思う人の割合（総合計画）

【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
74.6	76.3	72.6	75.0	84.3	80.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇公衆トイレの管理が街の美観に配慮されている

と思う人の割合（総合計画）

【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
19.1	24.4	24.2	22.9	22.6	50.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇衛生的と感じる人の割合（総合計画）

【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
19.1	19.1	22.3	18.6	20.9	50.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇都市景観に対する満足度（総合計画）

【単位：％】

H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度 (目標年度)
36.3	45.3	42.2	43.2	43.3	40.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇花と緑に関する満足度（総合計画）

【単位：％】

H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度 (目標年度)
35.7	46.9	38.3	41.6	39.8	40.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇公園に対する満足度（総合計画）

【単位：％】

H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度 (目標年度)
29.9	33.5	30.3	30.1	25.3	35.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

## 基本目標 4. 協働でつくる、人と環境にやさしいまち

### (1) 環境教育・環境学習の強化

#### ① 環境情報の整備

伊勢市の環境に関する情報について把握するとともに、理解・利用がしやすいようわかりやすく整理します。

#### ② 学習機会の充実

環境についての正しい理解と認識を深め、行動する人材を育成するため、学習機会の充実を図ります。

#### 実施内容

- 各事業者が有する人材・学習教材となりうる資材の提供等の協力をいただくことで、学習環境の充実を図るため、京セラ株式会社三重伊勢工場・中部電力株式会社と環境教育に関する協定を締結しました。
- 小中学校にデマンド機を導入し、学校内の節電の推進と、節電等の教育機会の充実を図りました。教育総務課
- 伊勢のごみの現状やごみの分別・排出、またごみの資源化などについて説明会を実施しました(延べ 22 回、参加人数延べ 651 人)。清掃課

## (2) 環境保全活動の推進

### ①市民の活動推進

市民一人ひとりが環境に配慮した暮らしを実践し、また、地域やグループにより環境活動の推進を図ります。

### ②事業者、団体等の活動推進

事業活動における環境負荷の軽減や、地域活動等への協力を推進します。

### ③市民、事業者、市の連携の推進

市民、事業者、市が情報共有し、意思疎通を図り、相互理解のもと協働で活動展開できるようネットワークの形成を図ります。

#### 実施内容

- 生活排水対策や3R推進、まちの美化など、環境に関するさまざまな啓発活動の実施を目的に、個人、事業者、市民団体などから構成された“伊勢市まちづくり市民会議環境分科会”に負担金を支出しました。

#### 伊勢市まちづくり市民会議環境分科会 活動

実施日	実施事業名	概要	環境基本計画 とのかわり
23.6.5	伊勢市駅前 ごみゼロ早朝清掃	「ごみゼロの日」にちなみ、まちの美化の意識啓発のため、伊勢市駅周辺を早朝清掃した。 参加者 約 400 人	基本目標 3-1-1
23.6.10	環境出前講座 「海や川を守ろう」	環境意識の啓発のため、環境分科会参加者が講師となり、小中学校へ出向いて講義等をする環境出前講座を実施した。 (テーマ) 対象：明倫小 6 年生 47 名 内容：伊勢の川、伊勢の空気と山、伊勢のごみ、節電	基本目標 4-1-2
23.7.3	勢田川七夕 大そうじ	勢田川の浄化と、河川美化の意識啓発のため、勢田川清掃を実施した。参加者 約 3,000 人	基本目標 2-1-3

23.8.7	こどもわくわく 体験フェスティバル	環境意識を高めてもらうために、体験 ブース等を出展した。 参加者 約 1,300 人	基本目標 4-1-2
23.8.9	水生生物による 水質調査	水環境に親しむきっかけづくり及び 水質浄化意識の啓発のため、小学校児 童らと宮川上・下流ごとの水生生物の 生息状況により、水質を調べた。市内 小学校児童参加人数 9名	基本目標2-1-4 基本目標 4-1-2
23.10.9	環境フェア	環境意識の啓発のため、体験ブース等 を出展した。来場者約 20,000 人	基本目標 4-1-2
23.10.9	ごみゼロポスター コンクール表彰式	家庭でごみ問題について話し合うき っかけづくりとして、市内小中学校へ 「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄 の防止」などをテーマに作品募集を行 ない、環境フェアにおいて受賞者への 表彰式を開催した。 受賞者 計 66 名	基本目標 1-3 基本目標 4-1-2
23.10.11 24. 3. 7	勢田川浄化実験事業	勢田川の浄化を目的に、微生物資材を ヘドロに投入し、ヘドロ浄化効果を経 過観察した。 参加者 H23.10.11 30人 H24. 3. 7 137人	基本目標 2-1-3
23.12.18	啓発活動	ごみの減量化・資源化の啓発のため、 市内 3 箇所で啓発ティッシュを配布 した。	基本目標 1-3
—	エコドライブ啓発	エコドライブ周知啓発のため、エコド ライブマグネットシートを作成し、会 員の自家用車用に掲示した。	基本目標 1-2-3
24.2.18 24.2.19	エコクッキング	生ごみを出さない、または、汚れた生 活排水を流さない調理方法について 実習した。 参加者 H24.2.18 19名 H24.2.19 20名	基本目標 1-3-1 基本目標 2-1-3 基本目標 4-1-2

関連計画の指標値及び目標値 推移

◇環境講座数（総合計画）

【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
10	7	13	17	17	20

◇環境教育授業数

【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
6	8	7	13	7	6

◇環境教育を受ける機会があった人の割合（総合計画）

【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
45.0	47.0	43.8	39.8	39.4	60.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇環境保全のための行動をしている人の割合（総合計画）

【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
32.8	29.7	25.3	27.0	24.8	50.0

※当該年度に実施した「みんなのまちの計画アンケート」の調査結果

◇マイバッグ持参率（総合計画）

【単位：％】

H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度 (目標年度)
90.4	89.8	92.0	92.0	91.6	95.0以上